

知事記者会見の概要

日 時：令和2年4月7日(火) 15:30～15:48

場 所：記者会見室

出席者：知事、総務部長、健康福祉部長、医療統括監、
秘書課長、広報広聴推進課長

出席記者：19名、テレビカメラ7台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

発表事項

- (1) 県内における新型コロナウイルス感染症の確認事例について（第14～19例）

フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：河北・共同・TUY>

☆報告事項

知事

早速ですけれども、本県内の14例目から19例目まで、新型コロナウイルスの感染者が確認されましたのでお知らせいたします。

感染者14の方ですけれども、20代の男性で、南陽市にお住まいの方です。4月1日に節々の痛みがあり、医療機関①を受診しました。この方は、昨日公表した感染者12、米沢市にお住まいの方ですけど、その方の友人です。「高畠ワイナリー」に勤務され、4月2日から自宅待機されております。

次に、感染者15ですけれども、20代の男性で、高畠町にお住まいの方です。3月28日、29日に39度台の発熱と頭痛があり、29日に医療機関②を受診。30日は頭痛があり、医療機関③を受診しました。この方は、感染者12、米沢市の方でしたけれども、その友人です。高畠消防署に勤務され、3月28日から4月2日までと4日、6日にお休みされております。

次に、感染者16ですが、40代の女性で、高畠町にお住まいの方です。4月1日、2日に倦怠感がありました。この方は、感染者10、上山市の方でしたけど、と感染者12、米沢市の方でした。その2人の友人であって、東京から来形された方のご家族です。

次に、感染者17は、50代の女性で、飯豊町にお住まいの方です。この方は、昨日公表した、感染者10の職場の同僚の方です。

次に、感染者18は、20代の男性で、鶴岡市にお住まいの方です。この方は、昨日公表した、感染者13の方と一緒に、3月20日の夜に仙台市のクラスター発生施設を利用しておりました。その日から4月5日まで、体調不良などの症状はなかった、ということです。

最後に、感染者19ですけれども、50代の男性で、上山市にお住まいの方です。3月31日に倦怠感、4月1日に38度台の発熱があり、医療機関④を受診、2日から4日まで発熱が続いたため、4日に医療機関④を再度受診しました。5日、6日も発熱がありました。この方の接触歴を含む行動歴は現在調査中であります。

いずれの方も6日に県衛生研究所で検体検査した結果、陽性と判明した方々であります。

3月31日に確認されて以来、感染者が急速に、かつ、広い範囲で広がっておりまして、非常事態だと捉えております。今後も、積極的疫学調査をしっかりと実施して、感染拡大防止に全力で取り組んでまいります。

県民の皆様には、7日連続して感染が確認され、大変驚いて、心配をされているというふうに思っております。ですが、午前中の会見でも申し上げましたとおり、繰り返しをお願いいたします。デマなどに惑わされることなく、冷静に落ち着いて行動していただきたいと思っております。そして、丁寧な手洗いと咳エチケット、こういった感染予防に今後もしっかりと取り組んでくださるようお願いいたします。

また、本日、安倍首相からですね、緊急事態宣言がなされるということ、7つの都府県に対して、7つの都府県が指定対象になるということが報道されております。全国が一丸となって、新型コロナ撲滅のために行動することが大事だと思っております。

そのことと、それから本県内でも7日連続、しかも県外からおいでになった方々と接触した後、に感染が確認されていると、そういう事例が大変多いということも踏まえまして、私から改めて、午前中と同じになりますけれども、県民の皆様をお願いしたいと思います。

1点目が、県外との往来を自粛していただきたい。出張や研修なども、当面の間、見合わせていただいて、インターネットやテレビ電話など文明の利器をフル活用していただきたいと、工夫してそのようにしていただきたいというふうに思っております。2点目は、法要などの行事についてもですね、当面の間、県外からの参加は見合わせていただきたいというふうに思います。

県民の皆様の命と安全を守ることが何よりも大事だと思っております。新型コロナウイルスという目に見えない、本当にまだ正体も明らかになっていないと言いますか、手ごわい敵との戦い、しかも長期戦を覚悟しなければならないというふうに思っておりますので、県民の皆さんお1人お1人がご自分と、それから周りの方々の命と安全を守るんだという、健康と安全を守るんだという、そういう意識をさらに強く持っていただきたいというふうに思っております。一致団結して、未曾有の状況を乗り切ってまいりましょう。よろしくをお願いいたします。

☆フリー質問

記者

日経新聞の浅山です。さっき午前中のお話の中で1点、あれなのですが、PCR検査のところで、知事が机上論と現実があるので、24時間まわすと言っても難しいと、それだけ県の衛生研究所に負担がかかっているのが民間委託も含めた形を検討すると。なかなか今、一応国の方針としてはですね、民間の血液検査みたいな形ではなくてですね、疫学的調査ですか、しっかりとした所がやるというようなことだったかと思ったのですが、その辺りはもうそういう建前を言っても対応できないので、もっと広げていきましょうという、ある種知事としての方針ということなんでしょうか。

知事

今のところしっかりとした検査体制を私はやっていくべき時期なのかなどは思っております。ただ机上論と申し上げたのは、じゃあ1日6時間ぐらいかかって検査結果が出るとすれば、じゃあ2回まわせるね3回まわせるねっていう話もしたのですが、それはやっぱり、6時間ですぐ次の体制に移れるかということ、次の体制に移るまでの時間といいますか、その準備の時間なんかもあるとかいうことをございますので、やっぱりそのぎちぎちの時間ということにはならないということをお聞きしまして、やっぱり1日3回まわすというのはちょっと無理があるなというふうに判断をしたところです。

それからちょっと長期戦になってきたなと思っております。今表れて、皆さんに感染が確認された方々のことを発表しておりますけれども、その水面下にはですね、氷山を思い浮かべていただきますと、水面、海の上に出ているのは本当に一部でありまして、その下

のほうでどのぐらい多く感染が拡大しているかもちょっと掴めないというところがありますので、これは本当にどンドンとしっかりと検査をしていくのですけれども、中長期戦になるなという覚悟をしなければならぬので、やはりある程度それを覚悟しながらの体制を整えていかなきゃいけないなと思っております。ですから、できうる限りの検査を今の状態でもしてもらって、また外注できるものはして、そして並行して庄内とかですね、ほかの保健所でも検査ができるような体制を整えていく、といったことをね、やっぱり長期的にしっかりと見据えて、整えていきたいというふうに思っております。

記者

特にいつ頃までに、今80件かと思うのですが、それを200とか300とかというのは、そこまではまだ。

知事

昨日がもう90ぐらい検査したと聞いていますので、やっぱりそこら辺が限界なのかなと。毎日毎日夜中までやっていますと、それに従事している人が倒れますので、増員体制もちょっと指示をしたところでもありますけれども、やはり中期戦、長期戦ということになってまいりますと、やっぱりほかの所でも検査できるようにという体制を、いずれはと思っておりますけれども、現実味を帯びてきて、しっかりとそういう準備をしまいたいというふうに思っております。

記者

すいません、テレビユー山形の結城と申します。度々お世話になっております。すいません、改めて知事にお伺いしたいのですが、今回感染が確認された方ですね、勤務先等々を見せていただきますと、もちろん観光施設であったりあるいは消防署のような重要な施設であったりですね、いろんな所に本当に多岐に渡ってきているということで、それこそ感染初期段階と比べるとだいぶ周りの人たちの意識、県民の意識も変わっていかねばいけない時期だと思っておりますが、今その直面している状況を、知事どういうふうに捉えていらっしゃるのかということをお伺いしてもいいでしょうか。

知事

はい。非常にですね、県内の広範囲に渡ってということもありますし、様々な勤務先、また、交流というようなこともあって、本当に多岐に渡るところに拡大しているというようなことも考えられるわけがありますので、危機感を高めてですね、しっかりと事業所の皆さん、県民お1人お1人の皆さんと一緒に危機感を高めて、しっかりと行動を自粛なりですね、県外との往来を控えるなど、これまで以上にしっかりと意識を高めて、結束して取り組んでいかなきゃいけない、そういう時期になっていると思っております。

記者

そして、午前中もお伺いしたのですが、国が出す緊急事態宣言ですね、それに関して、もちろん山形は当然その対象ではないわけなのですけれども、当然知事が県外との往来を自粛してほしいということはずっと言ってきた中で、ようやくというふうな思いがおりになるのか、その時期的なもの、あと今後のその緊急事態宣言が出されたことに関する県内への良い部分、悪い部分含めてですね、影響をどのように受け止めていらっしゃるのか、お伺いしてもいいでしょうか。

知事

はい。2日前に申し上げたかもしれませんが、私、なぜまだなのかということをお知らせしました。ようやくそういう体制を取っていただけるのかという思いであります。

ようやくということで、本当にしっかりとそういった宣言をして、また、取りかかっていたら、全国でやっぱり一致団結して取り組んでいくことが大事だと思っています。

そういう体制ができる中で、やはり県としてももちろん良くなったと言いますか、取り組みやすくなったというのはやはり県外との往来は自粛をして、控えてほしいと言ってきましたが、それがやはり県内だけの、県民の皆さん、県に住んでいるだけの皆さんだけでなく、やはり全国と言いますか、その指定対象地域だけでなく、ほかの地域からも含めての県への移動ということがかなり抑制されるのではないかというふうに、そういう効果があるかと思っています。

また、県内でもですね、不要不急の往来というようなことであつたわけでありましてけれども、しっかりとね、そこはもう意識を高めて、危機感を持って、もう控えていただくという意識と行動に繋がってほしいというふうに願っております。

記者

ありがとうございました。

記者

山形放送の宝池と申します。午前中にもお話があつたと思うのですが、県外への往来は自粛するよというお話あつたと思うのですが、県内の外出についてはいかがなんでしょうか。全部自粛になるのでしょうか。

知事

できる限り自粛ということ、外出自粛をできる限りお願いしたいというふうに思っています。本当にここで私がですね、こういうのは大丈夫です、こういうのは大丈夫ですというようなことをいろいろと申し上げますと、気持ちが緩んでしまうかなと思っています。

ので、そういった原則例外というようなことには、ちょっと今、言及をしないでおきたいというふうに思っています。

記者

緊急事態宣言が出されてからも変わることはないのでしょうか。

知事

緊急事態宣言以前、私は外出云々ということは言っていなかったと思います。感染が確認された自治体の首長さんたちは外出ということをおっしゃっておられましたけども、その時点で私は外出とまでは言っていなかったと思っております。今回はそうですね、できる限り外出を、できる限り控えていただければと、自粛していただければと思います。

記者

あともう1点、すみません、午前中の会見の中で、マスクについて、県内の縫製会社などに生産を要請するというお話があったと思うのですけれども、その具体的な中身、決まっているものがあれば。枚数とか。

知事

はい。担当のほうからあとでお聞きになってほしいと思いますが、概略ですと、施設関係ですと、私は確か13万枚前後かなというふうに聞いた覚えがあります。それから学校関係ですと、11万枚前後というふうに聞いた覚えがございますので、ただ、しっかりした数はですね、ちょっと担当のほうから後ほど聞いていただければと思います。

記者

ありがとうございます。